

民族戦線向け参加要項(総合案内と合わせてご覧下さい)

20170127

- 連合軍以外の民兵グループを”**民族戦線**”とします。(旧”反乱軍”)
- 想定地域(中東周辺)で入手性の高いものを基本装備とします。レプリカ装具はOKですが、あまりに掛け離れた代用装具や、実物が存在しない又は想定地域で存在しえない銃器を模したトイガンの使用は出来ません。
- 当日現地で状況に沿わないと判断された場合は、シチュエーションに参加出来ない場合があります。その際はレンタル装備(有料)にて参加可能です。

大きく分けて「**現地人**(非武装もしくは護身装備のみ)」「**民兵**(武装した現地人)」「**傭兵**(戦闘装備の傭われ兵)」の3グループに分かれます。それぞれのグループにまたがるニュアンスの装備の場合は事前にご申告下さい。編成時に考慮させていただきます。

ドレスコード

○現地人(穏健派・ネタ中心)

民族衣装を中心に、迷彩衣料・装具等も最低限に留めて下さい。武装は可ですが、あくまで民間人ですのでライフルや弾納などはショルダー掛けにしたり、すぐに手放せる状態で携行するのが望ましいです。チェストリグなどは、ジャケットやシャツですぐに隠せるように、外被の内側に装着して下さい。偽装が完璧なら、フル装備でも大丈夫です。装具・銃器等、想定地域で入手可能であろう装備を選んで下さい。現地人風の小道具(旅・生活用品)などを携行するのも望ましいです。

○民兵(過激派・戦闘中心)

民族衣装を中心に、各国旧式装備などで武装した民兵です。いわゆる「ステロタイプのアフガン民兵スタイル」で大丈夫です。現地人装備同様に、想定地域で入手可能であろう装備をお願いします。一応は「武装に傾倒した”現地人”」ですので、小道具などの携行も推奨します。

○傭兵(戦闘員です・2017新勢力)

戦闘装備で武装した傭兵部隊です。大きく「ロシア系傭兵」と「中国系傭兵」を募集させていただきます。現用ロシア軍および中国軍の装備をアレンジして(崩して)下さい。「ヘルメット・国章・部隊章」は禁止とします。ボディーマーは可です。「軍を抜け出して小遣い稼ぎに来た兵士」というニュアンスです。露中ともに”最新SF系”は禁止とします。

※上記で細則が記載されていない事項でも、現地で指導・調整が入る場合があります

○アイウェア

シューティンググラスはヒストリカルゲームで定番の「レンズから弦まで全て透明のもの」を推奨としますが、安全装備を強く否定するわけにもいかないのでゴーグルタイプでもレンズがクリアでフレームが黒もしくはミリタリーカラーのものは許可とします。フェイスガードは原則禁止としますので、顔への被弾が気になる場合はスカーフなどで防護して下さい。シリコンゴムの「顔型マスク」はご申告下さい。(骸骨型などは禁止です)

○行動に関する注意

特定の宗教や主張に傾倒しすぎた行為、シチュエーションを推奨しません。(禁止もしません)
倫理的に問題のある行為にもご注意ください。

使用する武器(トイガン)に関する規定

AK-47、AKM、AK-74 等のカラシニコフライフルがマストアイテムになります。
他、G3、FAL、M16A1 など各国旧式ライフルも推奨されます。

実銃で存在しない機種、想定地域にて入手しえない機種は使用禁止です。

レイルハンドガードや光学機器等は、想定地域での入手性等も考慮して下さい。

※レイルシステムに高価なオプションが山盛りなどは指導が入る場合があります

ローカルメイドウェポン(密造銃風カスタム)に関しては事前に申告して下さい。

射撃によるヒットで大きくシナリオが変わるシチュエーションはありませんが、毎度民族戦線は「ネタ」や「捨て身攻撃」を多様し「継続的な火力の不足」に苦しんでいます。(もちろん否定している訳ではありません)

火力向上のため、RPK や PKM などの軽機関銃の持ち込みを歓迎しています。

その他のお問い合わせは遠慮なくお問い合わせ下さい。

手持ちの装備をどうアレンジすれば参加出来るか、などのご質問も歓迎です。

総合案内・民兵装備 : 明日香縫製 (kalash@militia.jp)

民族戦線指揮官・会場管理 : Carry (carry@militia.jp)

連合軍指揮官・連合軍装備 : Heavy (heavy@militia.jp)